学生が土木学会東北支部研究奨励賞を 2 件受賞しました（2017/05/25）

テーマ：津波工学，受賞
URL：http://www.jsce.or.jp/branch/tohoku/

この度，弊所員が指導教員をつとめる 2 名の学生が「平成 28 年度土木学会東北支部研究奨励賞」を受賞しました．土木学会東北支部では，毎年 3 月に「土木学会東北支部技術研究発表会」を開催しており（2017 年 3 月 5 日 HP 掲載のアクティビティリポート：http://irides.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/20170304_reportb.pdf），満 36 歳未満の発表者で，主に学生を対象にして優れた研究成果を発表した論文の発表者に同賞が授与されます．平成 28 年度は全部で 8 件の受賞のうち 2 件が，弊所が関わる研究成果でした．5 月 25 日（木）に，仙台メトロポリタンホテルで授賞式が行われました．

以下は，受賞対象となった発表です．両件とも今村文彦所長・教授（災害リスク研究部門）が指導教員をつとめ，後者は佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が研究指導教員を，杉浦元亮教授（人間・社会対応研究部門）が研究支援を行っています．

「円錐型断層モデルによる 2011 年東北地方太平洋沖地震津波の再現」
久松明史（受賞者，工学研究科土木工学専攻），今村文彦ら

「災害対応訓練を行うことによる『生きる力』の変化に関する評価」
戸川直希（受賞者，工学研究科土木工学専攻），佐藤翔輔，杉浦元亮，今村文彦

受賞者（左：戸川直希君，右：久松明史君）

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）